KC#673

4 章 3 節[2.2.2]による静水中縦曲げモーメントの決定に関して、以下は規則の抜粋である。

・ホギング状態

$$M_{SW,H} = 175CL^2B(C_B + 0.7)10^{-3} - M_{WV,H}$$

・サギング状態

$$M_{SW,S} = 175CL^2B(C_B + 0.7)10^{-3} - M_{WV,S}$$

波浪中縦曲げモーメントは、［3.1.1］による。以下は規則の抜粋である。

・ホギング状態

$$M_{WV,H} = 190F_M f_p CL^2BC_B10^{-3}$$

・サギング状態

$$M_{WV,S} = 110F_M f_p CL^2B(C_B + 0.7)10^{-3}$$

疲労強度評価における静水中縦曲げモーメントを決定する場合、3.1.1 で使用される fp は、通常の疲労計算で使用される 0.5 よりむしろ 1.0 としなければならない。理由として、設計静水中縦曲げモーメントを推定する規則は、係数 fp で表される発生確率には無関係である。